

【概要報告】2021年度 第1回理事会(定例)

- 日 時：2021年5月24日(月) 午後6時から午後8時30分まで
- 会 場：オンライン
- 出席者：大塚、廣田、横井、小縣、近藤、河村、岡田、大下、新家、大家、神谷、渡邊_裕、後藤_春、家子、戸川、高垣、石川、大津、守屋、鹿島、石原、杉浦、後藤_圭、桑村、脇坂、西川、柴田
以上27名
- 委任状：若松、中西、 以上2名
- 欠 席：奥村、鬼頭 以上2名
- 陪席者：事務局員 利根、竹島

司 会：小縣専務理事

黙 禱

3月16日(火)に御逝去された廣美里元事務局長様に黙禱をささげた。

1 開 会

2 新理事自己紹介【横井副会長、新家事業部長、大家尾張支部長、高垣強化委員長、石川指導普及委員長】

3 挨拶【大塚会長】

愛知県バレーボール協会も法人化され、愛知県のバレーボールの普及に向けて頑張りたい。また、コロナ禍の中、バレーボール普及に御協力いただいていることに改めて御礼申し上げる。なお、私からも廣さん御逝去に際し心からご冥福をお祈り申し上げ、廣さんの思いを引継ぎ頑張りたい。

4 議長指名【大塚会長】

理事会議長を近藤副理事長に依頼

議 長：近藤副理事長

議事録：事務局【利根、竹島】

〈決議報告〉

5 審議事項

(1) U15 検討委員会【大塚会長】

資料1

U15 検討委員会委員を、小縣専務理事、岡田副理事長、大下事務局長、新家事業部長、後藤春幸会計、家子競技委員長、以上6名に依頼

(2) 財務検討委員会【大塚会長】

資料1

財務検討委員会委員を、小縣専務理事、河村副理事長、大下事務局長、石川指導普及委員長、杉浦中学校専門部長、後藤圭三小学校、桑村ヤングクラブ専門部長、以上7名に依頼

(3) 東海連盟役員/愛知県スポーツ協会役員【大塚会長】

資料1

東海バレーボール連盟理事は、近藤副理事長に依頼し、(公財)愛知県スポーツ協会理事および(公財)愛知県スポーツ協会競技委員は小縣専務理事に依頼

(4) 任意団体解散の会/法人設立御披露目の会【小縣専務理事】

6月13日に任意団体解散の会と法人設立御披露目の会を実施予定であったが、大塚会長とも相談しコロナ禍の中での実施方法を検討した。法人設立の社員設立総会は3月7日に実施している。通常なら退任される方への感謝と慰労を兼ねて懇親会形式で行っている。時期を遅らせて実施することは妥当でないと考え、集まることなく別の方法で実施をさせていただきたい。

このことからリーフレットの配布や感謝状の贈呈など専務理事に一任とする。

(5) 2021 年度運営基本方針/事業計画【専務理事、事務局長、事業部長、各支部長、各委員長】

資料 2 *以下別紙資料に基づき説明

ア 【運営基本方針】

(公財)日本バレーボール協会を参考に単年度ではなく中期経営計画を立案した。2026 年にアジア競技大会もあることもふまえて(1)～(6)項目を考えた。(1)U15 の課題への取組 (2)会計だけでなく、より一層組織内部の透明性と公平性を保たなければならない。例えば、理事の男女比などを考慮するなどの組織運営 (3)ジュニアや高校生含めてビーチバレーボールの普及や強化への取組 (4)財務検討委員会で審議し、根拠をもとに正会員団体会費や大会参加費を見直し (5)法人化後も組織の在り方の継続検討 (6)新たな人材の発掘育成とそのため魅力のある組織づくりの遂行。運営基本方針は各支部、委員会にむけて(1)～(8)まで具体的に示した。この 1 年で完了する内容でないので、トライ&エラーや PDCA サイクルや ODA ループなどを参考に取組んでいただきたい。なお、専門部は、予算措置をしていないため事業計画を作成していない。

イ 【事務局】

本会主催大会に事務局が総務的業務を担当する。藤森事務局主事を主として MRS システムを利用して正会員団体年会費の徴収を今年度中に確立する。正会員団体会費の検討は、事務局だけでなく財務検討委員会と連携し検討していく。

ウ 【事業部】

2021/22 V. LEAGUE 愛知大会については各チームから詳細を 6 月末までに集約する。予定は、2021 年 10 月 16 日から 3 月 27 日まで V division 1 が 30 日間、V division 2 が 8 日間の予定である。ただし、10 月 15 日(金)からジェイテクトホームゲームを調整しているため、31 日間の予定になりそうである。長期的視野で新たな事業の発掘を検討する。

エ 【名古屋支部】コロナ禍により 5 月のママさんバレーボール大会や名尾大会が中止である。パロマ瑞穂アリーナで小学生を対象とした「バレーボール教室」に指導者を派遣し、10 回ほど計画している。

オ 【尾張支部】

重点目標は他各支部と事前に調整し、1 点目は指導普及に関する点、2 点目は運営管理と支部独自大会運営に関する点である。支部独自大会で本会と中小体連の市区町村区分の相違を整理し、中学校の独自大会を見直していく。

カ 【西三河支部】

西三河は支部独自大会が多く、下村杯は全カテゴリーで開催する大会である。西三河支部運営会議にてソフトバレーにおいては協会から外して運営していく意向である。下村杯のみソフトバレーボールは参加することをご承知いただきたい。

キ 【東三河支部】

全日本バレーボール小学生大会東三河部予選が延期となっている。全国ママさんバレーボール大会東三河支部予選は中止である。

ク 【競技委員会】

重点目標の「コロナ禍に対応した競技運営」は随時見直す必要があるため目標として掲げた。全国大会予選を分散させたことの検証、さらに全国大会予選以外の大会の開催意義について考えていく。

ケ 【審判委員会】

審判資格認定講習会を 6 月 13 日にオンラインで計画している。審判員技術強化事業を計画しているが、コロナ禍の中多数での開催は難しいため工夫する。

コ 【強化委員会】

強化項目を見直し、シンプルにする。有望選手強化練習会兼国体少年男女選抜チーム選考会を延長し、6 月 26 日を計画している。中学校選抜チームの 6 月の練習会を中止したが、8 月の選考会、その後練習会をへて全国大会へ臨む。

サ 【指導普及委員会】

スポーツ指導者養成講習会は今年度から AVA が独自講習会として実施する。一昨年度までは愛知県スポーツ協会からの委託金で実施していたが、AVA 主催に変更され、34 名以上受講で本会に講習費の収益となる。U14 の記載を U15 に変更する。5 月 23 日のビーチバレーボール講習会は中止となった。

シ 【広報委員会】

重点目標は、情報発信連携強化と活動支援である。それに基づく事業計画、事業計画詳細は、記載のとおりである。

(6) 2021 年度予算案【後藤会計】

資料 3

収入の部で全日本バレーボール高等学校選手権決勝大会のチケット収入は大会運営費で相殺していたが、会計士からの指摘もあり収入科目として計上する。公認指導員養成講習費 3 回分を収入として計上する。Vリーグにおける収入は 2021-22 シーズンで 900 万円計上した。支出の内訳の中で、法人会計年度への繰り越しとしての法人化費 144 万円を計上、ソフトウェア償却は 4 年で償却のため毎年 40 万円計上する。収支は正味財産増減額マイナス 829 万 7 千円となる。

収入の参加費 350 万円に対して支出の大会運営費 810 万円と 460 万円の持ち出しとなりバランスが悪い。大会運営費は支部費の中にも含まれているため大会運営費の持ち出しはさらに多くなる。大会運営費削減が大事である。法人化費については今年で終わると考える。参加費、大会運営費、年会費等が現状のままだと毎年 700 万円程度の赤字になる現状である。委員会費も削減し御協力いただいているがこのような現状であることを御理解いただきたい。

(7) AVA 主催大会の新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン【家子競技委員長】

資料 4

昨年度から感染防止ガイドラインを作成し大会運営を実施してきた。今年度の東海 9 人制バレーボール選手権大会や中部 6 人制総合バレーボール選手権大会等でチームまたは参加者から御意見を伺い修正の必要性を感じたため方が御審議をお願いする。第 1 に「試合球は、ラリー終了後やタイムアウト・セット間等にチームで拭き、交換しながら使用する」とある。チームがボールを準備する支部予選は問題なかったが、県大会での試合球は主催者準備により各コート 2 球のため、ラリー終了ごとに拭くことが困難であるためタイムアウトごとに変更する。第 2 に大会は無観客開催のため競技参加者および役員のみ参加となるが、コントロールするための人的配置が不足している。チームも御協力いただいているが統一されているとはいいがたい。特に女子大会はお子さんへの対応、小学生大会は送迎の保護者が来場する必要性も考える。選手・スタッフ・役員のみ入場だけでは困難な現状である。チーム関係者という表記とし他チームが把握し、必要であろうという方であれば感染防止チェックリストを提出し、入場を許可することで大会運営を行うことに変更としたい。ケースバイケースで、大会開催前に、相談・連携しながら進めていきたい。また、周知のためホームページにも掲載したほうがよいであろう。ワクチン接種を終えた方への対応は、県や国の対応を参考に検討していく。

(8) 国民体育大会における本県代表選手の選考について【高垣強化委員長】

資料 5

本県の代表選手選考は文章化されていなかったが、ガバナンスやコンプライアンスの観点からと愛知県スポーツ協会からも作成の依頼があり、資料 5 のとおり提案する。

6 報告事項

(1) 専務理事【小縣専務理事】

資料 6

ア コロナ禍による大会運営について

ガイドラインにしたがって感染防止策を講じ慎重に運営していただきたい。昨年度はすべて中止であったが、実施できる大会は実施すべきと考える。ただし、感染拡大状況によって中止する必要もある。JVA 加盟団体委員総会報告

資料参照

イ 連盟代議員選出

代議員の選出は各専門部3名を基本とし、各専門部から推薦していただく。チームを代表するため、正会員団体（チーム）年会費を納入している加盟団体が条件となる。ヤングクラブバレーボール連盟やビーチバレーボール連盟の各チームは、正会員団体（チーム）年会費を納入していないため、代議員なしとなる。ソフトバレーボール連盟は、各チームではなく連盟一括で徴収しているため代議員は選出していただく。議決権のある理事は代議員になることはできない。各委員の方は議決権がないので代議員に選出は可能である。

この件について、以下の意見があった。

(ア) ヤング及びビーチ連盟の登録選手は個人登録をしており、その個人登録費の一部は本会の収入となり個人会費を納入していることになる。運営基本方針で「ビーチバレーボールの普及及び強化」と謳っている点、ビーチバレーボールはチームの概念がない点、ランキング上位の選手は高額な個人登録費を納入している点からビーチ連盟から代議員を選出しないことに違和感を覚える。

(イ) ヤングクラブ専門部から各支部にはヤング委員を選出しないとの依頼があったため、各支部でヤングに関わる意見集約ができない状況である。その現状から今年度の代議員選出を検討していただきたい。

(ロ) 運営基本方針で「U15 カテゴリー層の競技者問題」を掲げているにもかかわらず、代議員選出なしは違和感がある。各チームの中で中学校部活動とヤング連盟の在り方が理解されていない現実があり、チームの意見が集約できない状況にすることが本会としてよいのかと不安を感じる。何とか意見集約の状況を明確に作ってはと考える。

(ハ) 定款に代議員は「チームを代表した責任者の中から専門部より代表として推薦を受けたもの」となっている。チームは「当法人のチーム登録により正会員とする」という表記もあるため定款に大きく関わってくると考える。今年度に関しては各専門部と多くの理事の御意見も提案通りで良いのとのことであるが、今後慎重に検討したほうがよいと考える。

(ニ) 定款や会費も理解できるが、今年で意見集約し議論をと考える。子どもたちの活動時間や場所や機会が奪われ、活動できることがさまざまな障壁でふさがれることがないようにしていくべきではないかと考える。意見集約の場の確保をお願いする。

この件に関する会長の見解は以下のとおりである。

定款第18条の2項に「代議員はチームを代表した責任者の中から専門部より代表として推薦を受けたものとする」と記載されている。「チームを代表した責任者の中から」であり「チームを代表した責任者」とはどのようなものであるかを議論していくことが必要である。ヤングクラブバレーボール連盟と中学校部活動の選手層が重なっているとすれば、中学校専門部の代議員の方がその点を念頭に置きながら協議することにもなるであろう。問題提議をふまえて会長、専務理事、事務局長と定款に沿って審議したい。

三者での協議の結果を後日理事に確認をし、ヤングクラブバレーボール連盟およびビーチバレーボール連盟の代議員選出は今年度無しとすることとなった。

ウ 広報ブランディング活動

今までの広報活動は、ホームページ等を利用していた。AVAの存在意義や魅力ある協会づくりをし、ブランド化はできないか考えた。特に広報委員会にはホームページおよび迅速な情報提供によるブランディング活動をお願いしたい。ホームページの影響は大きく、チーム紹介やSNSの活用を活発にしていきたい。現在のフォロワーはTwitter160名、Instagram300名であり増加傾向にある。高校総体男子優勝チームの星城高等学校の写真や監督、主将のコメントを掲載した。若年層からフォロワーが一気に増加をした。アクセス数を増やす事がAVAの価値を上げるために必要ではないか。ホームページ更新は、広報委員会の栗田氏に依頼している。複数名での更新や多くの方の協力によりブランディング活動が展開できればと考える。本会の新しい活動としてやっていきたい。

エ 協会ホームページ

広報委員会の栗田氏から理事の方からの新ホームページの感想を求められている。小縣まで感想

をいただきたい。また、問い合わせが増加し、コロナ禍の中の大会開催や無観客開催への批判の御意見がある。

オ 2021 年度予算 法人関係費内訳

予算の内訳を明確にした方よいと考え提示した。

カ 法人グッズ（バッジ、名刺、リーフレット、賞状 A4）について

バッジは帰属意識とモチベーション維持のため委員の方すべてに配布予定で 200 個程度準備する。名刺は理事分作成済みで郵送する。リーフレットは会社案内のように理念を記載し、AVA の価値を高めるためにも活用していく。賞状、封筒を新しく作成しているが、賞状は旧の賞状を使用いただき、なくなったら新しい賞状を使用していただきたい。賞状は B4 から A4 タイプに変更し、各会場でプリントアウトしやすいようにした。

キ 専務理事勤務表

資料参照

(2) 事務局【大下事務局長】

資料 7

ア 愛知県バレーボール協会 2021 年 1 月から 3 月決算

委員会会合費が予算を超えているが、3 月に会計担当者説明会と第 2 回予算委員会開催のためである。通信費は総会書面議決によるものである。

イ 2021 年度理事会日程

年 5 回を計画している。今年度は、法人化にともない、議題も多いため 11 月に臨時開催を加え、計 6 回とさせていただきます。次回 7 月 13 日（火）午後 6 時から名駅プレミアムホールで開催予定である。

ウ 専従職員（専務理事）報酬

次回提案する。

エ 年表記について

すべて西暦で統一する。

(3) 事業部【新家事業部長】

資料 8

V 運営委託金について報告

(4) 支 部

ア 名古屋支部【委任状 若松支部長】

イ 尾張支部【大家支部長】

特になし

ウ 西三河支部【神谷支部長】

下村杯について検討

エ 東三河支部【渡邊_裕支部長】

特になし

(5) 委員会

ア 競技委員会【家子委員長】

大会の中止や延期について広報委員会・競技委員長に連絡の依頼

イ 審判委員会【戸川委員長】

資料 9

審判講習会を ZOOM で企画し、現在 30 名程度と報告を受けており現在も募集中である。4 月の東海ブロック審判講習会も ZOOM 利用で行い、問題点もあったが、有意義な時間であった。審判資格認定講習会は 6 月 30 日開催予定であるが、御都合等悪い方は御連絡いただければと考えている。

ウ 強化委員会【高垣委員長】

6 月中学生練習会中止、国体選考会延期となった。

エ 指導普及委員会【石川委員長】

日本スポーツ協会のコーチの養成講習会の申込みを行っている。AVA ホームページで確認をお願いする。

オ 広報委員会【大津委員長】

資料 10

大会結果をできる限り当日提供していただきたい。5月、7月、10月、1月に高校生や中学生の大会が注目されているため迅速に組み合わせまたは結果送信をお願いする。

(6) 専門部

ア 実業団専門部【委任状 中西部長】

イ クラブ専門部【守屋部長】

クラブカップ愛知県大会女子6人名球友クラブが優勝し全国大会出場となる。男子はベスト4まで決定している。9人制は男女とも参加数が少ないとのことで6月20日に集約し志段味SCで実施する。全国クラブカップ大会は、4カテゴリー中1カテゴリーでも中止の場合すべての大会中止であったが、訂正があり、各カテゴリーの開催県の感染状況等を考慮し開催または中止の判断をするとのことである。

ウ 大学専門部【鹿島部長】

東および西日本インカレは中止となった。愛知県大学リーグは各大学の状況鑑みて実施してほしいとのことである。東海大学バレーボール連盟で新型コロナウイルスの影響もあるが、できるだけ開催する方向で6月末まで延期とした。ガイドラインにもあったが、試合中はマスク着用、チェンジコートなし、セット間の消毒、無観客で実施する。また、男子はライブ配信を実施した。

エ 高校専門部【石原部長】

高校総体男子は優勝星城高、準優勝大同大大同高、3位愛工大名電高、4位栄徳高となっている。女子はベスト4まで決まっており、5月30日に誠信高、岡崎学園高、豊川高、豊橋中央高でリーグ戦を行う。優勝チームが石川県金沢市で開催される全国高校総体出場する。女子が7月28日から31日まで、男子が8月3日から6日まで開催である。

オ 中学校専門部【杉浦部長】

6月の練習会は中止となった。8月の最終選考会は情報を集めながら進めている。

カ 小学生専門部【後藤^主部長】

8月に予定された全国大会が中止になった。5月末から支部大会、6月に県大会を実施予定である。ガイドラインを遵守し、小学生の場合保護者の引率がなしというわけにはいかないの、人数制限や入場者把握しチーム関係者として扱い無観客開催としている。東三河支部は6月末に開催県大会に間に合わせるとの報告を受けている。8月末の東海大会開催は、来週東海小連で延期、中止、開催および男女混合チームの東海大会参加に含めて検討する。

キ ヤングクラブ専門部【桑村部長】

全国ヤングクラブ優勝大会は5月末に開催有無を決定する予定である。

ク ソフト専門部【脇坂部長】

5月および6月県フェスティバルは中止とした。

ケ ビーチ専門部【西川部長】

5月23日ビーチクリニックは中止とした。5月29日ビーチバレージャパンおよびビーチバレージャパンレディースは延期、6月の大会は予定どおり実施していく方向である。競技エリア内は無観客であるが、屋外競技のため観戦することが可能となってしまうがコントロールしていきたい。

コ ママさん専門部【柴田部長】

資料 11

5月23日全国ママさんバレーボール大会愛知県予選会から6月17日に延期する。

7 挨拶【廣田副会長】

法人化され新しいスタートができた。新しいことをするには人と経費が必要である。支出を減らすことももちろんだが、新しく収入を増やすことを考えながらAVAがさらに発展するように考えている。コロナ

禍で大会が中止されることもあるが、実施の際にはガイドラインに沿って安心安全な大会運営を実施していただきたい。健康に気をつけていただいて7月13日には対面で理事会が開催できることを願っている。